

東日本大震災を教訓にGHP採用

災害時も安定供給のLPガスを評価

医療法人元秀会 弘前小野病院 (青森県弘前市)

避難者を想定しファンヒーター設置

医療法人元秀会弘前小野病院では、東日本大震災のときに翌日午前まで停電を経験した。非常用の自家発電機だけでは電気が足りず、冬の寒い時期だったが暖房ができなかった。これを教訓に、**災害時でも供給能力が安定しているLPガスを燃料とする空調設備のGHPを導入し、併せて災害バルクを設置した。**

4階建てのうち、寝たきりの患者が多い3階と外来のある1階の一部をGHP空調に切り替えた。また、地域住民や外来患者の**避難受け入れも想定し、廊下などの共用部を暖房するためのガスファンヒーターも導入した。**

ユーザーの声

弘前小野病院
理事長

小野 浩嗣 さん



地域の皆さんが より安心できる病院に

大震災以後、災害時に備えるための設備の導入を少しずつ進めてきました。2年前に非常用LPガス発電機を導入し、これがきっかけでGHPの存在を知りました。今回の工事では浴室も改修したのですが、**補助事業を活用してGHPやガスファンヒーターを導入できました。**

LPガス災害バルクを設置したことで、炊き出しなどにも対応できるようになり、災害時に周辺住民を受け入れる余裕ができました。**地域の皆さんにとってより安心できる病院になれたと思っています。**

設置機器

- ・災害バルク貯槽 (1t)
- ・GHP×4台 (25馬力、20馬力×各2台)
- ・ガスファンヒーター×7台



弘前小野病院



GHP



災害バルク貯槽